

6/11㊦ ハッピーパークさくらんぼ祭り2017



6/11地域のイベントに出演した和太鼓和楽。会場には和楽の演奏に魅せられたファンの方や小さな子どもも沢山。人気の秘密はやはり心打つ和太鼓和楽の音色と見ている人を楽しませるパフォーマンス。年齢層幅広いメンバーの1つになった心と会場が一体となり、素晴らしいひと時をみんなで楽しんでいました。



和太鼓 和楽



ダウンロードしたら、表紙にかざして和楽のパフォーマンスを観よう！

公演スケジュール
 7/27(木) 南アルプス市国際交流センター：ウエルカムパーティー
 7/29(土) 南アルプス市：新沢宿夏祭
 9/3(日) 埼玉県：太鼓祭東日本大会（ジュニアチーム）出場決定！
 鼓摩の会 和太鼓和楽
 事務所：〒400-0416 山梨県南アルプス市大師675
 TEL/055-282-3227 メール/wadaikowaraku@gmail.com

心・技・体の鍛錬 人として成長できる場
 現在活動するのは、小学1年生〜60歳までの男女約50名。週2回行われる練習には、全員が毎回参加できているわけではないが、皆、目標や楽しみやりがいを感じて参加している。「細かいリズムをもっと上手に叩けるようになりたい」「新しい曲を覚えるのは大変だけど、音が揃うと気持ちが良い」など小学生メンバーも和太鼓に夢中の様子だ。
 「活動の面白さは、幅広い世代が演奏会に向かって一つの曲をつくり上げていくこと。音を合わせるためには心を合わせなければいけません。難しさはもちろんありますが、それが組太鼓の醍醐味です」
 こう話すのは、副会長兼チームリーダーの



会長 石川 勉さん 副会長 舩田 光寛さん

舩田光寛さん。太鼓を演奏するには心・技・体のすべてを磨くことが必要とされ、普段の生活が太鼓の音色に現れてしまうのだと続ける。
 だからこそ、和太鼓和楽の活動を通して学べることは多いと石川さんも言う。
 「子どもは成長が早い。自主性と自立心が芽生え、1年経つと言動が変わってきます。毎年のことではありますが、そういった子どもの変化が見られるのは、私や大人のメンバーのやりがいになっていると思います」
 保育園で和太鼓に触れたことがきっかけだったり、演奏を聴いたことがきっかけだったり、子どもたちが和楽の活動に加わる理由はさまざま。大人たちが子どもたちから気付かされることも多く、活動を通して成長し合うことができると言う。

日本の伝統音楽を伝え、継ぐ集団 「一打一打を聴いてもらいたい」

和楽の演奏について聞いてみると、「一打一打の力強い響きを聴いてもらいたい」と石川会長。曲全体はもちろん、一打、一発。「一発で全身に響きわたる音が出せることが和太鼓の魅力」と舩田さんも添える。
 その一打を聴かせる音にするためには、想いを込めることが大切。一打入魂。歯をくいしばるように全身全霊をぶつけて演奏する和楽の和太鼓は、観て気持ち良く、聴いて心が震える。
 「練習で使用できる施設が減ってしまったことなどから、和太鼓の団体が少なくなってきました。和太鼓は、日本の伝統音楽。厳しい環境の中ではありますが、伝え、残していくための活動もしていかなければいけません。まずは和太鼓を聴いて、興味を持ってほしい。そして、私たちの力強い和太鼓の音で町や人が元気になるってくれたらと思います」(舩田さん)
 結成10年の節目を迎え、次のステップへ。和太鼓和楽は、町と人を鼓舞する庄巻のパフォーマンスで、伝統音楽を次の世代へと継いでいく。

和太鼓1つ無いところから グローバルな活動団体への変遷
 大小さまざまな和太鼓が整列する、南アルプス市創造館アミカル。訪れたのは、結成10周年を迎えた和太鼓集団「鼓摩の会 和太鼓和楽(わらく)」の練習だ。
 「うちの団体は『和太鼓保存会』ではなく、『愛好会』に近い。和楽とは、和になって楽しくの興味です。自分たちが楽しく演奏することをモットーに、和太鼓を志す11家族15名で結成しました」
 結成当時について聞かせてくれたのは、会長の石川勉さん。和楽の結成は2006年秋。太鼓や楽器一つないゼロの状態から始まり、中古の太鼓を集め、少しずつメンバーを増やしていったと言う。
 それからの展開は早い。結成翌年には、東京

ドームで行われた「山本寛齋スーパーショー」に出演。2009年には全国でも有数の和太鼓コンテストである「岡谷世界和太鼓打ち比べコンテスト」に挑戦し、優勝を果たした。以降、コンテスト以外にも、全国のお祭りや県内各地の施設、国際交流イベントなどから声がかかるなど、広く演奏活動を展開している。
 「コンクールやイベントなど、発表の場があることで雰囲気も引き締まります。うちは『和になって楽しく』が基本ですが、奏者ですから『聴いてもらいたい』という気持ちはもちろん。年々、お声がけいただくイベントや施設が増え、演奏できる場が増えてるのはとても嬉しいことです」
 7月27日には、南アルプス市の国際交流センターで行われるウエルカムパーティーで演奏を予定。インターナショナルな場で、おもてなしの重要な役割を担う。

伝統芸能のノスタルジーと力強い響き。「鼓摩の会 和太鼓和楽」の演奏は人の心を震わす。「和になって、楽しく」を合言葉に和太鼓を愛好する有志でスタートした。県内外で精力的に演奏活動を続けて10年。勢いを増し続ける和太鼓集団・和楽の練習を訪れ、活動取材した。

鼓摩の会 和太鼓和楽

町と人を鼓舞する響き W A R A K U

